

早いものでもう師走、何かと慌ただしくなってきました。先日から急に寒さが増してきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。さて、防災タイムズ第51号では、8月に行われました防災あんしん調査結果についてご紹介させていただきます。

○第19回 防災あんしん調査票 集約結果

10月に第19回防災あんしん調査票の集約を完了しました。

今回の調査票の回収率は84.1%と、前年度の85.1%に比べ1ポイント減少しましたが、過去10年間の平均値85%とほぼ近値でした。趣旨を理解しご協力いただきました住民の皆様には厚く御礼申し上げます。

調査票の目的は災害発生時にいち早くご近所の安否を確認し、より迅速な救命救護への活用や、救援物資・救援金の適切な配分などに使用するものですので、さらに多く回収できるよう、今後も検討を進めていきます。

なお、防災あんしん調査票は平和が丘学区独自の取り組みですが、H23年の東日本大震災以降、行政や他の学区等からも特に注目されています。

(1) 回収結果

	配布 世帯数※1	報告 世帯数	調査票 回収率	総人数※1 (報告人数合計)	一世帯あたり 平均人数	75歳以上 世帯数	要援護者 人数※2
R04年度	1,880世帯	1,582世帯	84.1%	3,992人	2.52人	474世帯(30.0%)	140人(8.8%)
R03年度	1,891世帯	1,609世帯	85.1%	4,133人	2.57人	500世帯(31.1%)	160人(9.9%)

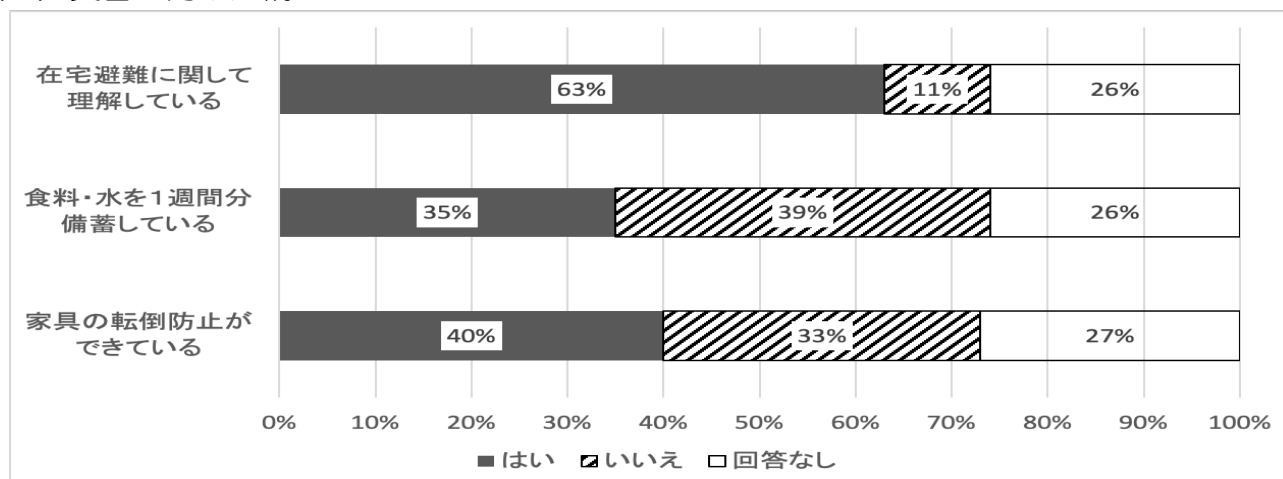
※1：調査票の配布ができない管理マンション等があるため、配布世帯数および総人数等は学区全体の
正値より少なくなっています。

(※2：要援護者人数／報告世帯数)

75歳以上の高齢者がおられる世帯は学区全体で30.0%と、昨年度31.1%に対し1.1ポイント減少していますが、3つの自治会で昨年度より世帯数が増加していました。

また、災害時に何らかの援護(介助)が必要な方が、昨年度より20人減少し140人となりましたが、災害時には自主防災会やご近所同士での助け合いが必要になります。日頃から顔の見えるお付き合いをお願いします。

(2) 災害に向けた備え



在宅避難については63%の世帯が認識されていましたが、食料・水の備蓄や家具の転倒防止対策を実施されている世帯は約40%の状況でした。

○グルっと一周、平和が丘（平和が丘消防団）

学区の皆さんはこの学区を一回りしたことがありますか？

平和が丘消防団の団員は月に2回、広報車で学区を巡回しています。

そこに見えるのは、明るい店舗、車の多く通る道路、街路樹、行き交う人々、落ち着いた住居群、公園の樹木、交差点、空き地、高校、大学、神社やお寺、集合住宅と広い駐車場などなど。変化する学区の様子を観察しながら巡回しています。

この穏やかな環境下で、豪雨が襲ったら、地震が起きて火災やがけ崩れが起きたら。自然の力に私たちは逆らうことはできません。でも、この学区の街並みがいつまでも穏やかであってほしいと願っています。

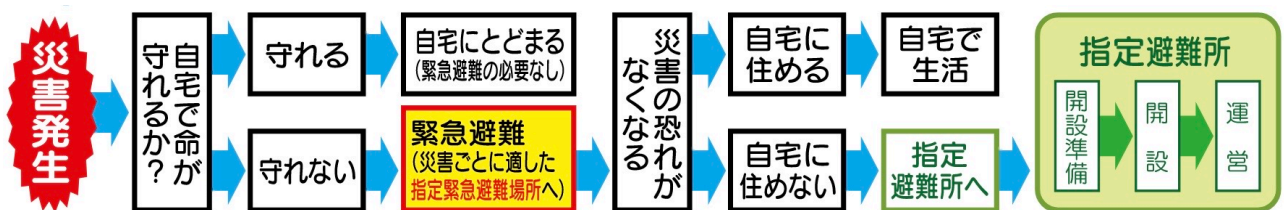
団員相互はメールで連絡しています。4名の女性団員は、消防団詰所でマスク越しのおしゃべりを思う存分楽しんでます。将来を考えている学生団員もいます。広報車の運転は一人、あなたは横に座って街を観察する。学区の皆さん、消防団詰所にお越しください。学区の平穏を祈りつつ一緒に巡回しましょう。



□防災お役立ち情報

○在宅避難

避難行動の流れ（名古屋市「指定避難所」運営マニュアル概要版より）



災害発生時は、**命を守るための避難行動が最優先**です。被害が発生するおそれがある場合は、ちゅうちょなく避難してください。

その一方で、3密状態(密閉・密集・密接)になりやすい避難所では、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まることが考えられます。感染リスクを回避する避難行動の一つとして、**自宅などにとどまることで命を守る「在宅避難」**があります。

避難所に行くことだけが避難行動ではありません。あらためて自分に適した避難行動を考えてみましょう。

普段自分が暮らしている空間でプライバシーを保ちながら生活できるという点は大きなメリットです。このためには、水道や電気、ガスなどのライフラインが使えない状態でも、自宅などで**約1週間は乗り切れるように必要な物資を備えておきましょう。**

また、在宅避難をする場合でも最寄りの**指定避難所で避難者登録**をしましょう。在宅避難の方でも情報把握や物資の受け取りは可能です。備蓄物資が不足してきたら、登録した指定避難所で必要な物資を受け取りましょう。

<編集後記>

年の瀬に近づき、寒い日が続くようになりました。冬場は空気が乾燥することのほか、暖房器具等の火気を使う機会が増えることからスイッチの切り忘れなどによる不適当な使用方法から火災が発生しやすいと言われてます。暖房器具の扱いには十分注意していただき、皆さま元気に新年を迎えましょう。（編集 前島）

